

広報

# ただみ

6

2011 月号

No. 493  
平成23年6月10日



## 今月の表紙

今年もSLが奥会津を快走。大自然をバックに黒煙を力強く立ち上らせ走りぬける姿をカメラに取めようと鉄道ファンが三脚を並べる。SLの車窓から只見線の絶景をながめようとする鉄道ファンで席は満席。SLの楽しみ方も人それぞれ。【関連記事11頁】

全国瞬時警報システム運用開始・・・2～3

町下野球場完成記念式典・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～5

自然首都・只見の恵み推進事業スタート・・・・・・・・6～7

第11回ブナセンター講座 他・・・・・・・・・・・・・・・・8～11

町の話題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～13

# 全国瞬時警報システム6月1日から運用開始!

国が発した緊急情報を受信し、自動で町の防災行政無線を起動させて放送する「全国瞬時警報システム」の運用を平成23年6月1日から開始します。  
 自宅や職場などで放送が流れたときの行動について、日頃から確認しておきましょう。

## 「全国瞬時警報システム」とは…

人工衛星と市町村の防災無線を利用して緊急情報を伝えるシステムです。地震や津波、弾道ミサイルの発射など、すぐに対処しなくてはならない事態が発生した際に、国から住民に直接、速やかに情報を知らせることを

目的に、総務省消防庁が整備し、平成18年度から運用しています。

このシステムで送信される緊急情報には、気象庁による気象関連情報と内閣官房による有事関連情報があります。気象関連として地震・津波・火山・気象などに関する警報や注意報、有事関連として弾道ミサイル、航空攻撃、ゲリラ・特殊部隊攻撃、大規模テロの情報対象になっています。

これらの緊急情報が、消防庁から人工衛星を利用して地方公共団体などに送信され、市町村などが専用の受信機で受信します。情報が受信すると、防災行政無線が自動で起動され、警報音やあらかじめ録音された音声などが自動放送される仕組みになっています。

このシステムの最大のメリットは市町村などの職員の手を介さずに送信からごく短時間で住民に避難などを呼びかけること

ができ、被害の軽減が図られることです。

只見町で放送される情報について、次ページでお知らせします。内容のご確認をお願いいたします。

## 注意ください…

▽お知らせ情報は、自動的に放送されるシステムのため真夜中でも放送されます。

▽このシステムは、国のコンピュータが、人の手を介さず自動的に発信するシステムのため誤報の可能性があります。その場合は誤報キャンセル放送が流れます。

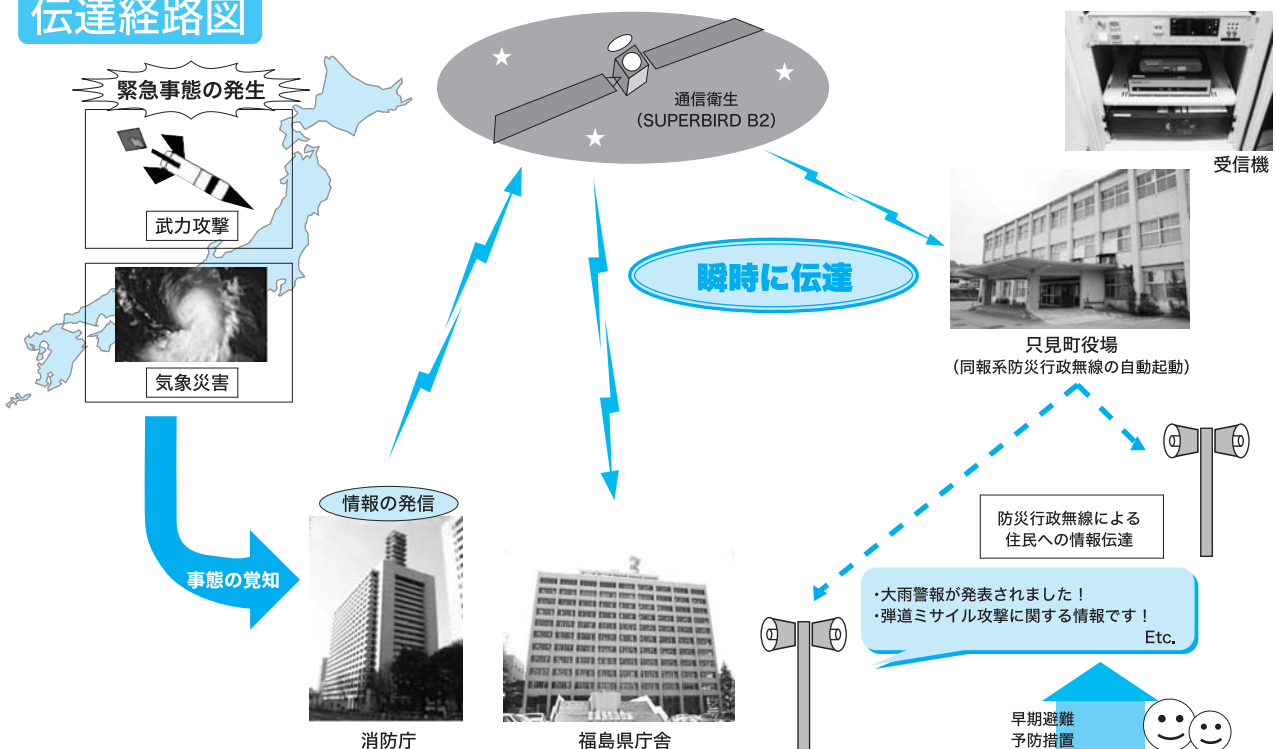
▽緊急地震速報の場合、震源が近い時や直下型地震の場合は、放送が間に合わないことがあります。

▽強風や雨などの気象条件や、住宅の遮音性の向上、地形などにより情報が聞き取りにくい場合があります。

▽訓練や、機器の調整のため試験放送を行う場合があります。（この場合は、訓練放送として放送します）

以上について、ご了承願います。なお、このシステムについてのご質問などは次ページのお問い合わせ先までご照会ください。

## 伝達経路図





# お知らせする情報

全国瞬時警報システムにより次の情報が放送されます。

情報の種類	サイレンの種類	放送内容(合成音声)
<b>国民保護情報</b>		
■弾道ミサイル攻撃情報(攻撃地域)	国民保護サイレン 14秒 吹鳴	「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。 当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
■航空攻撃情報(攻撃対象地域)	国民保護サイレン 14秒 吹鳴	「航空攻撃情報。航空攻撃情報。 当地域に航空攻撃の可能性あります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
■ゲリラ・特殊部隊攻撃情報(攻撃対象地域)	国民保護サイレン 14秒 吹鳴	「ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。 当地域にゲリラ攻撃の可能性あります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
■大規模テロ情報(攻撃対象地域)	国民保護サイレン 14秒 吹鳴	「大規模テロ情報。大規模テロ情報。 当地域にテロの危険が及ぶ可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
<b>緊急地震速報</b>		
■震度速報(震度4)	緊急地震速報 チャイム	「大地震です。大地震です。」【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
■震度速報(震度5弱以上)	緊急地震速報 チャイム	「緊急地震速報。大地震です。大地震です。」 【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
<b>気象情報</b>		
■土砂災害警戒情報	只見町の通常 チャイム	こちらは、只見町です。 「ただいま、土砂災害警戒情報が発表されました。テレビ・ラジオの情報に注意してください。」 【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)
■記録的短時間大雨情報	只見町の通常 チャイム	こちらは、只見町です。 「ただいま、記録的短時間大雨情報が発表されました。テレビ・ラジオの情報に注意してください。」 【3回繰り返し】 こちらは、只見町です。(終わり通常チャイム)

＊＊ お問い合わせ ＊＊

町民生活課 町民班 ☎0241-82-5100



# 町下野球場完成記念式典

昭和53年度に設置された「町下野球場」は、町民を中心に町営野球場として多くの野球チームに身近な施設として親しまれ、活用されています。毎年、1万人を超える利用者があり、なかには他県からの合宿利用もあります。この球場も、設置以来30年以上が経過し、経年劣化による損傷が激しく、危険性も高くなり、プレーに支障をきたす球場となっていました。

そこで、より安全性の高い球場へ全面的に改修することにより、野球をはじめ様々なスポーツイベントを通じての交流活動を活発にし、地域の活性化を促進する交流拠点施設とするために、改修事業を実施しました。

さわやかな春風と日差しのおかげ、5月7日に町下野球場で同野球場の完成記念式典が行われ、町内のスポーツ少年団や只見中学校と只見高等学校の野球部、さらに学法石川高等学校野球部など関係者が出席しました。

はじめに、教育委員会から改修事業の概要について説明があり、続いての主催者あいさつで目黒町長は「皆さんに親しまれる施設にしたい。スポーツ交流で地域の活性化と町の発展を図る。多くの利用者に試合をしていただくなかで、新たな出会いや友情、ドラマが生まれることに期待したい」と述べました。次に、五十嵐拓町議会議長が祝辞を述べ、目黒町長ら関係者によるテープカットが行われ、完成を祝いました。

最後に、出席されたスポーツ少年団と各学校の野球部へ記念品のボールが、目黒町長から贈られました。

式典のあと、只見高校と学法石川高校の記念試合が行われ、目黒町長の始球式により試合がスタートし、新しい土が敷き詰められ、生まれ変わったグラウンドを確かめるように両校の選手たちは気合の入った声を掛け合いながら全力でプレーしていました。

試合は2試合行われ、合わせ



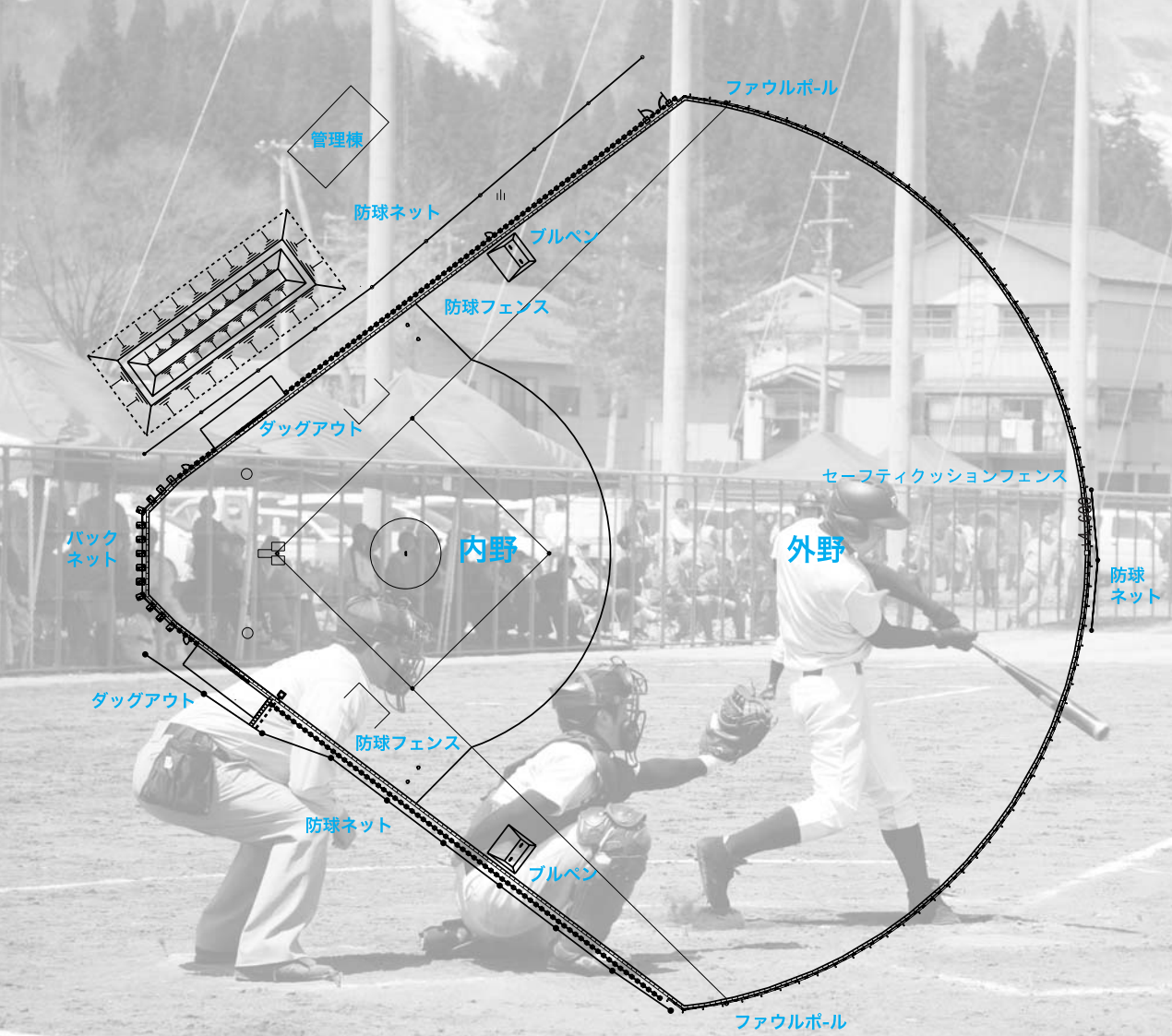
完成を祝いテープカット

て4本のホームランが飛び出すなど記念試合にふさわしいハイレベルなゲーム展開に、観客から大きな声援が送られていました。改修後の球場で記念となる第1号ホームランを記録した只見高校2年の「五十嵐大貴さん」に感想を聞きましたので紹介します。

内野と外野に異なる良質の土を敷き詰めたすばらしい球場ですので、皆さんの積極的なご利用をお願いします。



# スポーツ交流の拠点施設が完成



## 仕様

- ・グラウンド面積 計 10,937.5㎡  
(内野部：2873.51㎡ 外野部：8063.99㎡)
- ・フィールド 両翼 90m 中堅 115m
- ・スコアボード 1基
- ・舗装 内野：精黒土混合土 外野：粒度調整土
- ・外野フェンス 高さ：2m クッション：厚さ42mm
- ・防球ネット 1塁側：高さ8m 3塁側：高さ11m

## 改修内容

1. 路面（グラウンド）全面舗装工事  
内野、外野に異なる質の土を導入、硬式球の対応も可能
2. 排水工事（暗渠工事）  
地下排水を整備、雨が降った時の水はけが良好
3. バックネット・サイドネット入替工事  
耐雪型のフェンスであり、年間を通しての設置が可能
4. 防球ネット新設工事  
打球が直接グラウンド外へ飛球するのを防ぐため、1塁側に高さ8m、3塁側に高さ11mの防球ネットを新設
5. セーフティウォール（防護材）装着工事  
既存の外野コンクリートフェンスの表面を補修し、その上に厚さ4.2cmの防護材を装着
6. ダッグアウトの改修  
これまでよりも大きく、またダッグアウト前へも安全性を向上するために防球フェンスを設置
7. スポーツトラクタの導入  
良好なグラウンドの維持管理を図るため、スポーツトラクタを導入



始球式を行う目黒町長

## 事業費

事業名：新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業補助金

項目	事業費	うち補助金額	うち町負担額
工事費	112,162,050円	74,774,000円	37,388,050円
備品購入費	4,042,500円	2,695,000円	1,347,500円
計	116,204,550円	77,469,000円	38,735,550円

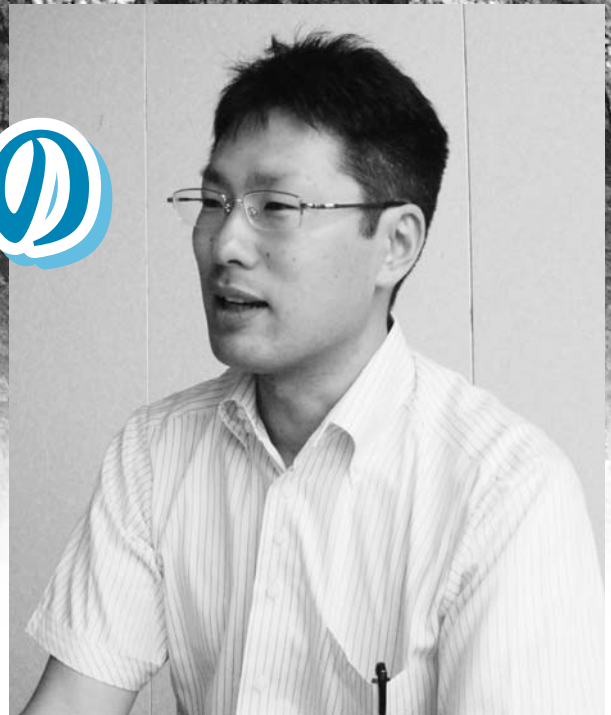


第1号ホームラン  
おめでとう

五十嵐 大貴さん  
(只見高2年)

▷打った感触は良かったが、打球を見ていなかったのが驚いた。初めて打てて良かった。これからも自分ができることを一生懸命やりレベルアップを目指します。…(大貴さんは2試合目もホームランを打ちました)

# 「自然首都・只見の 恵み推進事業」 がスタート



伊藤裕幸室長

## 農林企画室から皆さんへ

今年度、産業振興課内に設置された「農林企画室」の業務などについて、伊藤裕幸室長から、皆さんに内容をお知らせいたします。新たにスタートした農林企画室をよろしくお願ひします。



5月21日、「紙マルチ」と呼ばれる黒い紙のシートを水田に敷いて雑草の生育を抑える「紙マルチ栽培」による田植えが町内2カ所で行われました。

紙マルチ栽培は有機米の栽培方法として普及していますが、水温・地温が高まりにくいため南会津地方での実施は困難とされている方法です。今回、只見町で初めて試験的に導入しました。この事業の取り組みや、農林企画室の業務内容と「自然首都・只見の恵み推進事業」などについて伊藤室長から、皆さんへ説明いたします。

伊藤室長は矢吹町出身で、3月末まで会津大学に勤務、4月より農林企画室長として只見町役場に勤務されています。

「自然首都・只見の恵み推進事業」についてももう少し詳しく教えてください。

まずは農林企画室について教えてください。



▽最終目標は「自然首都・只見」のイメージを最大限活用して只見町の農産物全体のブランド化を図り、農業所得の向上を目指すことです。しかしながら農産物全体のブランド化を図るには長い年月と多大な経費が必要となります。そのため一部の農産物のブランド化を図ることで農産物全体への波及効果を狙うこととし、まずは有機米栽培を推進することとしました。

今年度は只見町の気候にあった栽培方法を検証するため、紙マルチを含め3種類の抑草方法を採用しました。各水田には作業経過などを記載した案内板を設置しますので、ぜひ、見学してください。

有機米の栽培のほかに、どのようなことに取り組むのでしょうか。



▽只見町が直面している、あるいは今後見込まれる農林業の政策課題に適時的確に対応するため、今年の4月、産業振興課内に農林企画室が設置されました。職員は私を含めて3名という小さな組織です。主な業務は『耕い手育成』、『農業所得向上』、『耕作放棄地対策』、『農商工連携』で、『自然首都・只見の恵み推進事業』は『農業所得向上』の取り組みの一つです。さらには、風評被害対策も重要です。やるべきことが盛りだくさんですが、産業振興課の農林班や交流推進班と連携しながら着実に実施いたします。

▽田植えが一段落しましたので、これからは統一ブランド名やマーク作成等、販売戦略を重点的に



# 自然首都・只見の恵み推進事業

## 紙マルチ栽培での田植え

### 紙マルチ栽培で植付けられた苗



### 紙マルチの補充作業



### 自然首都・只見の恵み推進事業 事業計画

平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然首都・只見の恵みプロジェクト推進協議会の設立</li> <li>○有機米栽培の促進</li> <li>○販売戦略の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有機米栽培の促進</li> <li>○販売戦略の検討</li> <li>○販売促進イベントの実施</li> <li>○都市との交流事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有機米栽培の促進</li> <li>○有機JAS認証取得</li> <li>○有機農産物販売</li> <li>○販売促進イベントの実施</li> <li>○都市との交流事業の実施</li> </ul>

### 平成23年度 有機米栽培の取り組み状況

実施場所	抑草対策	栽培品種
叶津字居平	紙マルチ・油かす	コシヒカリ
大倉字田向	油かす・米ぬか	コシヒカリ
梁取字仏地	紙マルチ・米ぬか	コシヒカリ
布沢字小倉	米ぬか	コシヒカリ

有機米栽培などについての問い合わせは・・・  
産業振興課 農林企画室  
電話 82-5230まで。

▽只見町は自然が豊かで、食べ物だけでなく水や空気も本当においしいです。また、皆さんがとても親切です。ただ一つ残念なことは、町外の人にとって只見町はダムや豪雪の印象が強すぎて農産物を思い浮かべにくいことです。只見町に勤務が決まってから何人かに「只見町は米がとれるの？」と質問されました。今後は只見の自然と結び付けた効果的な宣伝がますます重要になりますので、いいものを作るだけでなく広報にも力を入れていきます。これから、よろしく願います。

最後に只見町の印象をお聞かせください。  
?

に検討します。また、将来は米以外にも野菜の有機栽培や雪下野菜の生産等に取り組むことを目標にしています。

# 多雪地に生きるヤナギ 「ユビソヤナギ」



▲ユビソヤナギの雄花(写真提供:菊地賢さん)

## 第11回ブナセンター講座

只見町ブナセンターでは、6月19日まで「絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて」と題した特別展示を、「ただみ・ブナと川のミュージアム」で開催しています。これに関連し、5月8日には、ユビソヤナギ研究の第一線に携わる森林総合研究所の「菊地賢さん」を講師に招いて、ブナセンター講座「ユビソヤナギの生態と只見の自然」を行いました。受講者は30人で、町内をはじめ、会津坂下町や新潟市からの参加もありました。

### 伊南川は、国内最大のユビソヤナギ自生地

町内を流れる伊南川や只見川のほとりには、ヤナギの仲間を主役にした豊かな水辺林が広がっています。オノエヤナギ、ユビソヤナギ、オオバヤナギ、シロヤナギ、ネコヤナギなどが分布していますが、ヤナギの仲間は見分けがむずかしく、どれも同じように見えます。そのひとつ、ユビソヤナギは、1972年に群馬県の湯檜曾川で発見された日本固有のヤナギで、2003年には、町内の伊南川でもみつかりました。現在は流域80km以上に渡って2497本が

確認され、国内最大の自生地として注目されています。

菊地さんは、ユビソヤナギが新種として発表されるまでの経緯とその後の経過を紹介し、「伊南川での発見が、その後の流れを大きく変えました」と説明します。これまで太平洋側にのみ分布していると思われていたユビソヤナギが、はじめて日本海に流れる川で発見され、調査の範囲を広げたところ、本州北部の多雪地域で次々と発見されることになったとのことでした。

「ユビソヤナギは、めずらしい植物というよりも、多雪地域の山地河畔林を代表する植物だといえます」と話す菊地さん。川のほとりに生えるヤナギの仲間は、川の氾濫を利用して世代交代する特徴があります。ユビソヤナギは、ほかのヤナギより早く、4月上旬には花を咲かせますが、それは雪どけ水が収まるタイミングに合わせて種子を散布させるためだとされています。

### ユビソヤナギの保護には、水辺の自然環境の保全と住民の関心が重要!

次の話題では、多数の新たな自生地の発見によりユビソヤナギの絶滅の危険性が低くなり、絶滅危惧種IB類からII類へと

変更されたことについて説明されました。菊地さんは「だからといって楽観視はできません。河川改修工事などで、各地の自生地が失われている現状があります。ユビソヤナギの寿命は短く30年から長くて50年です。めずらしい種として単一で保護するのではなく、ユビソヤナギを含むヤナギ林が世代交代を続けていける自然度の高い河川を守っていくことが大切だと思います。伊南川流域のように、広範囲で自然が残っている河川は全国でも限られています。また、ユビソヤナギの調査を行なった、ただみの自然に学ぶ会など、関心の高い人々がいることも大切なことだと思います」と話しました。質疑応答では、「伊南川の保全状況は?」「雑種との見分け方は?」「温暖化の影響は?」など、熱心な質問があげられました。ユビソヤナギについての質問などがありましたら、「ただみ・ブナと川のミュージアム」にお問い合わせください。スタッフやボランティアが対応いたします。

午後は、伊南川と黒谷川の合流点に移動して現地観察会を行いました。参加者は15人で、ヤナギの花の香りに包まれながらユビソヤナギをはじめヤナギ類の見分け方を学びました。

## Profile

菊地 賢(きくち・さとし)さん

▽独立行政法人森林総合研究所、生態遺伝研究室、主任研究員。オオヤマレンゲ、ユビソヤナギ、ハナノキなどを対象に保全遺伝学、系統地理学的研究に携わる。『只見町文化財等差報告書第14集・ユビソヤナギの生態と遺伝』に、鈴木和次郎館長(当時、森林総合研究所在籍)と共に携わる。



▲ただみ・ブナと川のミュージアムでの講座



中朝日地区経営体育成基盤整備事業  
起工式・安全祈願祭



▲安全を願い鍬入れをする目黒町長

中朝日地区（上福井・黒谷）の基盤整備事業に伴う面工事が平成23年度に着工します。その起工式と安全祈願祭が5月10日に、上福井地区内のラジオ塔わきで行われました。起工式で只見町土地改良区理事長の目黒町長は「農業を取り巻く環境は大変厳しいが、農地を守り生産していくことが重要。町でも協力・支援を

していく。この工事が滞りなく進行すること、立派な農地が完成することを願っている」とあいさつをしました。続いて、五十嵐拓町議会議長が祝辞を述べました。

引き続き安全祈願祭が行われ、神事では、宍戸裕幸南会津農林事務所長をはじめ、目黒町長、佐藤好正上福井事業組合長、小沼武夫黒谷事業組合長らが、工事の安全を願い、鍬入れや玉串奉天を行いました。最後に工事を行なう大正工業株式会社によるブルドーザーの始動があり、出席者全員で起工を確認、円滑な工事の進捗を祈念しました。



▲安全祈願祭での神事

区長と町当局が活発な意見交換  
平成23年度町政報告会

5月13日に、区長連絡協議会総会が行われ、終了後に平成23年度町政報告会が開かれました。役場からは目黒町長、久保副町長、各課等の長が出席し、区長との意見交換を行いました。

はじめに目黒町長から、「今回の震災で被災された方への義援金のご協力ありがとうございました。町は少子高齢化など多くの課題を抱えています。皆さんからの意見を反映させ、より効果的に町政を運営していきます」とあいさつがありました。続いて、各担当課長などから本年度の重点事項や協力事項についての説明が行われ、質疑応



▲季の郷湯ら里で行われた町政報告会

答に入りました。質疑応答では、町道改良の促進、集落元気づくり事業交付金制度、地元産木材の利活用の推進、原発事故の風評被害対策、有害鳥獣駆除、集会施設の修繕、道路愛護活動などについて、活発な意見交換がなされ、副町長や担当課長などから現状の報告や、今後の進め方、方針などの説明がありました。

対策が必要な課題や報告を要する事案については、今後、調査検討しながら、随時報告していくこととし、町政報告会を終了しました。



▲意見交換で発言する区長

将来は通年通行が可能な道路に  
国道252号六十里越雪わり街道再開通式



▲目黒町長ら関係者によるテープカット

穏やかな春の日差しがふりそそぐ天候のなか、只見町「歳時記会館」を会場に、5月14日、国道252号六十里越雪わり街道再開通式が行われました。

主催者を代表し国道252号六十里越雪わり街道を愛する会長の菅家俊一、只見町商工会長が「この街道を安心して利用いただけるよう今後も

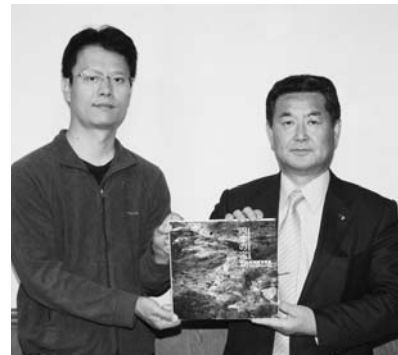
努力します。新潟県との地域発展に期待します」とあいさつを述べ、続いての祝辞で目黒町長は「この度の震災でこの街道の通年通行の必要性、重要性を痛感しました。新潟県からの物資の輸送が役立ちました。今後、皆さんのご協力をいただきながら、被災地の復興を支援するための元気な地域づくりを進めます」と述べました。

その後、関係者によるテープカットが華やかに行われ、只見町からも目黒町長や五十嵐拓町議長、菅家俊一町商工会長が参列しました。会場では、只見町の「天領只見仙嶽太鼓」や魚沼市の「鬼面獅子山太鼓」の勇壮な太鼓演奏、マジックショー、特産品などが当たる抽選会などが行われたほか、魚沼・只見の物産販売コーナーも設けられ、観光客などにぎわっていました。このイベントは、15日も行われました。



▲鬼面獅子山太鼓

林明輝さん写真集200冊を寄贈



▲目黒町長に写真集を手渡す林さん(左)

写真家で横須賀市在住の「林明輝(りん・めいき)さん」が、日本各地の自然風景を写した写真集「四季の宝物」を出版され、只見町に200冊寄贈されました。この写真集は、貴重でかけがえのない日本の自然が織りな

す季節の風景を収めたもので、表紙には恵みの森が採用されているほか、収められている全99作品のうち、表紙を含め9点が只見の自然を写した写真となっています。

林さんは、5月13日に役場本庁を訪れ、目黒町長に写真集を手渡されると「震災で被災された方々をはじめ、福島県の方々が、この写真集をご覧になって福島のすばらしさを再発見していただき、自信と誇りを取り戻してもらえれば最高の喜びです」と笑顔で話されました。

写真集は町内の小中学校と高校、各地区センター図書室などに置かれる予定です。

目黒邦友さんに消防庁長官表彰



▲章記を受け取る目黒さん(右)

只見町消防団分団長の目黒邦友さん(只見)が、消防功労者消防庁長官表彰の永年勤続功労章を受章されました。

伝達式は、5月18日に役場本庁で行われ、渡辺典雄南会津地方振興局長から目黒分団長へ章記が手渡されました。

目黒分団長は、昭和55年4月に消防団員を拝命以来、30年間、住民の生命財産を守り福祉の向上と近代消防の構築に貢献され、自治体の振興発展に尽力されました。



SL会津只見10周年号



一日駅長・5月22日



はそめ はるきくん(右)  
さんべ このかさ(中)  
さんべ そうたくん(左)

残雪と新緑が魅力

春の臨時列車運行

3日から5日の三日間運行されたのは、大きな窓とレトロな客席が特徴の「風っこ会津只見号」、そして、21日と22日の二日間運行されたのは、C11型蒸気機関車の「SL会津只見10周年号」で、今年も満員の大人気列車が春の香り漂う奥会津を走りました。

只見駅では、SLをバックに記念撮影する人や駅前広場の特設テントで行われた物産販売で山菜などを買い求めたり、お昼を食べたりする人など、思い思いに、只見の春を満喫していました。また、SLが到着した日は、かわいらしい3人の一日駅長が笑顔で「ようこそ只見へ」と歓迎の言葉をかけ、乗客を喜ばせていました。SLの乗客には特製のストラップもプレゼントされました。

風っこ会津只見号



一日駅長・5月21日



きくち あらたくん(右)  
すずき りこさん(中)  
やまだ そうたくん(左)

只見町文化財に指定  
修験龍蔵院の聖教典籍文書類

修験龍蔵院(樋戸・山崎行弘さん)の聖教典籍文書類505点が4月27日に行われた定例教育委員会の承認を受け町の有形文化財に指定されました。指定された文書類は、聖教典籍287点、符札・版木類111点、文書類107点で、現在は福島県歴史資料館(福島市)で保存管理されています。

の写本の中で3番目に古いことが判明。また、別な陰陽雑書抜書は無年記ですが、近世初期のものであることから、国内で5番目に古いものと推測される全国的に見ても大変貴重な文化財となっています。



▲文化財に指定された写本

東日本大震災義援金



6月1日現在の受領状況をお知らせします。  
\*30万円以上は金額も記載  
\*受領台帳の記載順に団体と個人を分けて記載  
\*団体代表者又はご本人の承諾を得て記載しています。

日本棋院奥会津支部様  
只見囲碁愛好会様  
ダム・発電関係市町村全国協議会  
会長 辻 一幸 様  
只見町建設業協会様  
石伏区雪屋を作る会様  
(ゆふじた様)  
全国町村会様  
蒲生花輪踊り保存会  
三瓶 新一郎 様  
カタバグループ  
馬場 直子 様  
只見スパーマーケット様  
只見町職員労働組合  
酒井建設合資会社内  
只見温泉保養センター様

只見町区長連絡協議会

1,642件  
2,379,820円  
\*町内の各世帯などから寄せられた義援金です。

30万円以上

（協会）津工場様 100万円  
只見町音楽研究会様 30万円  
八木沢区様 30万円  
只見町職員一同 36万9千円

団体

小林53戸組合  
組合長 角田 勝昭 様  
明和三つ葉会  
会長 永井 由美 様

右上写真：  
日本赤十字社福島県支部・  
太田久雄事務局長(左)に義援  
金を手渡す只見町区長・五十嵐  
拓町協議会議長・目黒彰一町区  
長連絡協議会会長

個人

渡部 省三 様  
斉藤 成也 様  
谷地 あい子 様  
酒井 洋介 様  
加藤 洋孝 様  
星 文孝 様  
吉田 六郎 様  
只見町の合計  
▽1,672件  
▽5,437,109円



## かけぬけろ! 明和っ子魂!



明和小学校(5月14日)



朝日小学校(5月21日)

# 小学校 春季大運動会



自分のため、チームのため、  
ふくしまのため!



只見小学校(5月28日)

## 暫 只見地区センター利用説明会 定期的な移転先の施設を確認

只見地区センター機能が旧只見中学校に移転したことに伴い、施設の利用説明会が5月16日に同地区センターの和室として使用される教育委員会の会議室で開かれ、地域の方10名が出席されました。出席者は会議室の種類や予約方法などの説明を受けたあと、利用可能な会議室を見学したり、1階にある事務室も確認、早速予約の相談をされていました。



▲ 開講式で元気に楽しく体操をする参加者

## 友 カルガモクラブ開講式 だちたくさん、みんなで遊ぼう!

教育委員会が主催するカルガモクラブの開講式が5月10日に教育委員会の会議室で開かれ、町内の親子18組37名が参加しました。このクラブは、保育所入所前の幼児と保護者を対象に子育ての情報交換やネットワークづくり、交流促進などを目的に月1回、様々なイベントを民生児童委員の皆さんと行うクラブです。入会をご希望の方、ご安心を。会員募集は随時行なっていますので、ご参加ください。



▲ 会議室の広さなどを確かめる出席者



## 新 第22回只見町民ハイキング 緑の只見を歩くべんねえかい！

真っ青な空と、さわやかな新緑のなか、5月15日に第22回只見町民ハイキングが行われました。コースは只見青少年旅行村から只見湖展望台公園を折り返す5.8kmと、歳時記会館を折り返す2.8kmのコースで行われ、172名が参加、新緑が鮮やかな周囲の山々と只見湖をながめゆつくりと歩き、春の一日を満喫しました。恒例のお楽しみ抽選会も行われ、最後まで盛り上がりました。



▲ 新緑のなかウォーキングで汗を流した参加者

## 青 要害山トレッキング 空のもと登山道には長蛇の列



▲ 天候に恵まれさわやかな汗を流した参加者

さわやかな青空が広がった5月15日に要害山トレッキングが行われ、福島県内はじめ、栃木県や東京都などから、昨年を上回る約130名が参加、予想以上にぎわいを見せました。今回は初めて記念バッジを作り参加者に配付、皆さん笑顔で受け取っていました。町内のガイドさんから、要害山(水久保城)の歴史を聞いた参加者からは「もっとPRしたらいいよ」という意見も聞かれました。

## 被 町消防団員・町職員震災ボランティア 災地の復旧を願い支援活動

東日本大震災による大津波で被災された浜通りのいわき市で、町内の消防団員と町職員の希望者が一日も早い地域の復興を願い、ボランティア活動を行いました。参加者数は5月15日が10名、16日が9名、17日が8名で、南会津町や下郷町、檜枝岐村などの参加者とともに被災地域の住宅周辺のがれきや県道、市道の土砂を取り除く作業を行い、予想以上の重労働に災害の大きさを痛感していました。



▲ がれきなどの撤去作業に当たる消防団員ら

## 迅 消防団非常招集訓練 速な消火活動と意識高揚を



▲ 真剣に訓練に臨む消防団員

5月8日、非常時の消防活動を迅速に行うことを目的に、只見町消防団の非常招集訓練が行われました。午前6時のサイレン広報で町内すべての分団に出動要請が出され、出火場所に想定された只見スキー場に集合。今回の訓練には団員88名、ポンプ車3台、消防積載車9台が出動し、消火訓練が円滑に行われました。終了後、鈴木好行消防団長から「予防消防に努めること」と訓示がありました。

# Anna先生のLife in JAPAN Vol.6



■Anna・George  
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
2010年8月から只見町英語指導助手。  
小学校と中学校で語学の指導を行います。

2カ月ほど前、私は春休みとお花見を楽しみにしていました。ですが、3月11日の、東日本をおそった記録的な大地震と大津波。たくさんの人が命や家を失い、未だに自宅に戻っていない人もいると聞きました。その日のことや東日本大震災後の人々への影響などについて毎日考えています。一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、ゴールデンウィーク中に友人がイングラ



ンドから遊びに来てくれました。一緒に日本のあちこちを旅行してきました。旅は東京、鎌倉、大阪、京都、奈良、日光そして福島を巡りました。実はこれが私にとっての初めての関西旅行で、わくわくしていました。たくさんの神社仏閣や庭園を見て回ることは楽しかったです。特に、大阪の水族館「海遊館」は最高に面白いと思いました。

友人は、福島の自然の美しさを特に気に入っていました。只見ダムに行き、たくさん写真を撮

撮ってきました。たくさんの日本料理を紹介するのも楽しかったです。彼女がイングラ

ンドに戻ってしまったときも悲しかったですが、彼女が日本にいる私に会いに来てくれたことは、本当に幸せでした。

写真は「三三」と京都で撮ったものです。天候に恵まれた、すてきな旅行でした。  
(訳・只見中・福地)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 若山 隆

### 『内視鏡検査前の採血検査について』

みなさんこんにちは！診療所医師の若山と申します。診療所に来てから、はや2カ月がすぎました。だいぶあたたかくなり、初夏の到来を感じます。

さて今回は「内視鏡検査前の採血検査」をテーマにお話しさせていただきます。診察時、当診療所ではこれまで内視鏡検査前には、みなさんに採血検査を実施してきました。その目的は、肝炎ウイルスや梅毒などの感染症の有無を知り、感染症の危険性を判断するためでした。しかし、近年の内視鏡界全体の考え方として「スタンダードプレコーシ

ョン」という考え方が重要視されています。難しい横文字で分かりにくいかと思いますが、簡単に言い換えると「すべての患者さんの血液・体液には感染症の危険があるものとして対応する」という考え方です。感染症には、肝炎ウイルス・梅毒のほかにも、HIVやピロリ菌といった検査していかない感染症もあります。未知の感染症もあります。

持っている人も持っていない人も一律に厳しい基準で実施する方が安全です。内視鏡の学会もスタンダードプレコーションを強く推奨しています。このような考え方により、当診療所でも内視鏡前の採血検査をやめることとなりました。以後は内視鏡検査のために、同日に2回採血されることもなくなると思います。

検査の結果では安全かどうか判断できないということですが、内視鏡の洗浄に関しても、検査の結果で洗浄法を変えたり、検査後の内視鏡の洗浄・消毒は肝炎ウイルス・梅毒を

全に、苦痛が少ない内視鏡検査が行えるように努力いたしますので、どうかよろしくお願いたします。



# 町史

とっておきの話

203

長岡・河井継之助記念館友の会会員  
高梁方谷会会員

小名 泰裕

司馬遼太郎書「壺中天」



## 河井継之助の矛盾

今回は、司馬遼太郎の揮毫『山水相應蒼龍窟』を紹介しました。今回はもう一つの揮毫『壺中天』について話します。私は、この揮毫を初めて見たとき、どういう意図で司馬さんが書いたのかよくわからなかったのです。

河井継之助は、長岡では郷土の英雄であり、その反面、起さずすむ戦をおこし、あげくの果てに町を焼き、負けた側に長岡藩を落としいれ、恨みをかいました。そのあたりを想いつつ『壺中天』のことを考えてみたいとおもいます。

百科事典(\*)でその意味を調べてみると、『俗世間とは異なつた天地、別世界のこと』と書いてあります。この意味と同様、只見の自然と風景が素晴らしいと司馬さんが言ったと思います。しかし、『壺中天』には、もうひとつの意味もあるのです。

司馬さんのエッセイに『風塵抄』という本があります。これは、晩年の司馬さんが毎月、サンケイ新聞に連載したコラムをまとめた本です。そのコラムの中に『壺中天』という章があります。そこから引用すると、

「自分だけの理想郷というすばらしく肯定的な意味と、きわめて狭小で手前勝手の見解という否定的な意味とをあわせ持っている」とあります。私は、この文章を読んだあと、思わず驚嘆しました。只見のこの『壺中天』の揮毫を私なりに解釈すると、

「藩政改革で長岡藩を理想的で近代的な藩にした肯定的な河井と、新政府軍（薩長）が決して受け入れることができない中立策を無理に押し通し戦争を起こした否定的な継之助」となります。

司馬さんは、河井継之助が茶毘に付された只見川の川原、今はダム湖の水面ですが、その場所を眺め、只見の風景と河井継之助のことを想っていたに違いありません。しかし、その心の奥底では、決して河井継之助のことをベタ褒めしていたわけではなかったのです。司馬さんが見た只見の風景と河井継之助のことを想う胸中は、意外と複雑だったのかもしれない。

『壺中天』と揮毫を書いた司馬さんのことを考えると、私は、『山水相應蒼龍窟』よりは、この『壺中天』の揮毫の方が、今は感慨深く思っています。

今年の四月二十三日、長岡・河

井継之助記念館の主催で、司馬さんの『街道をゆく』の最後の担当記者であった村井重俊さんの講演がありました。講演が終ったあとの雑談で村井さんは、

『峠』という作品の前半は、きわめて合理的で理屈が通っているのだが、後半はまったくといっていいほど辻褄が合わなくなるといふ不思議な小説です」と話されました。

私は、河井継之助がもつ矛盾、あるいは、『峠』という小説がもつ矛盾、その矛盾を矛盾として受け入れることができるかどうかで、河井継之助、『峠』の評価が変わってくるのだと思います。

司馬さんは『峠』の執筆後、六十里越国道が開通した翌年に只見に来られました。あれこれ考えると、司馬さんが『峠』を完結する前に只見に来ていたならば、只見で過ごした河井継之助の十二日間にもっとペーじを割いていたに違いありません。

『峠』のあとがきに、

「書き終えて、筆者もまた松蔵の恐れを自分の怖れとして多少感じている。いくらかの骨を灰の中にわすれてきてしまっているかもしれないのである」



長岡市・河井継之助記念館

と書いて、小説を終わっています。第四回と第五回で、只見の河井継之助記念館にある司馬遼太郎の揮毫を紹介しました。平成十九年、長岡・河井継之助記念館、開館一周年記念に、司馬遼太郎記念館の上村洋行館長が記念講演をされ講演のなかで、

「義兄の司馬遼太郎が『峠』を書いたほんとうの理由は、よくわからない」

と話されています。

結局、この『よくわからない』と言ったことを、私は楽しんでいくのかもしれない。

\*日本大百科全書（一九九五年二版）  
発行所：小学館



# 町民文芸

## 只見短歌会

四月詠草

大塚栄一

指導

放射能恐れて近くの公園に桜咲けども人等は寄らず

古川 英子

雪消えて田の土手の面の出でくれば稲作せねど心忙し

馬場 八智

地震にて傷みし屋根の修復は三年先と孫は嘆きつ

皆川 恒子

お茶を飲むわれを避けつつ駆け回る四人の孫よりガムの匂ひす

目黒 富子

いつもより残雪多き過ごしるる施設の窓より遠き山眺む

五十嵐英子

老夫婦二人のみ住む家裏の大き梅の木咲き盛りをり

齊藤ちひろ

軋む音立てて寄せ来る大津波テレビに見つつ息を呑み込む

五十嵐夏美

福島と名の付く物は売れぬとふ原発事故の風評怖し

渡部ゆき子

かつてなき津波と地震に襲はれし被災地は日々報道さるる

渡部ヨリ子

雨の夜に濡れ来し飼猫戸の外に甘えて鳴くにタオル持ちゆく

新国 洋子

(出 詠 順)

## 只見俳句会

五月例会

目黒十一

指導

土筆手に思いをはせる震災地  
月おぼろ「あさひが丘」を退出す

邦 男

下萌やもも色の豚放たれて  
別れ霜瓦礫の底に田畑あり

笑 羊

田面を鳶ひくく飛ぶ夏めく日  
蛇穴を出でて大きく口と舌

恒 夫

廢校の桜二本の大満開  
お地蔵の錫杖鳴れり春埃

洋 子

地震されど蕾ふくらむ牡丹かな  
春疾風ずり落つぐしのトタン鳴る

吉 児

雪解けの山新しき眩しさよ  
苗床の雪割りいるや余震来る

一 穂

足早な影の行き来や春障子  
全山の木の芽萌え出す雨二日

隆 堂

春の川流され下る鴨一羽  
瀬の音や一本咲きし花辛夷

敦 子

初音聞く三石様へ願ほどき  
先頭が止まるうぐひすの谷渡り

邦 夫

東風怖や高々と立つ鯉幟  
夕灯す腕に蚊口のあたらしく

礼

番鴨裏の水辺に再来す  
山肌の黒々として峽の春

リウコ

卒然と友の逝きたるなごり雪  
被災地の水仙手折り胸に抱く

修 一

空樽を干して一日暖かし  
手を振っている母が居り新入生

康 女



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
民生課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

## 只見町職員(大学卒程度)採用候補者試験

平成24年度只見町職員(大学卒程度)採用候補者試験を行います。

### 一、試験職種及び採用予定人員

一般事務職 1名程度

### 二、受験資格(学歴不問)

昭和61年4月2日から平成2年4月1日まで

に生まれた者

### 三、試験の方法

大学卒程度で次により行います。

#### ①第一次試験

教養試験、専門試験(行政)、各種適性検査を行います。

#### ②第二次試験

(二次試験合格者) 小論文、面接等による試験を行います。

### 四、第一次試験の日時、場所

▽日時

平成23年7月24日(日)

午前9時受付

午後4時25分

▽場所

福島大学

(福島市金谷川1番地)

### 五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、合格者に通知します。

### 六、採用

合格者は任用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を決定します。(この名簿の有効期間は一年間です)

### 七、受験手続及び受付期間

①申込用紙の請求

申込用紙は役場総務企画課及び朝日、明和地区センターで交付します。(郵送による交付を希望の場合は、表に「大学卒程度試験申込用紙請求」と朱書きし、1200円切手を

貼った宛先明記の返信用封筒(角型2号)を同封してください)

②申込方法

申込用紙は、持参又は郵送により役場総務企画課に提出してください。申込書を郵送する場合は、表に「大学卒程度試験申込」と朱書きし、80円切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封してください。(追って「受験票」を送付します)

③受付期間





平成23年5月26日から6月24日まで。(郵送による場合は、6月22日までの消印のあるものに限り)

### 八、その他

詳しくは、役場総務企画課総務班までお問い合わせください。

☎0241-8215050

(内線214)

おたわらさき  
**太田原沙希さん**  
(大倉)

さとう なお  
**佐藤 奈緒さん**  
(只見)

きつ ともは  
**吉津 知巴さん**  
(黒谷)

やしま たいき  
**八島 大輝くん**  
(小林)



## 虫歯のない子

5月25日  
3歳児健診






おおたけ れんと  
**大竹 蓮斗くん**  
(大倉)

かん け ゆうご  
**菅家 悠吾くん**  
(黒谷)

よこやま はるひ  
**横山 晴陽くん**  
(樫戸)

さくち とうご  
**菊地 桐伍くん**  
(梁取)

## 税 今月の納期

- 6月27日までに納めましょう
- 町県民税(1期)
- 水道使用料(1期)
- 農集排使用料(6月分)

## 集落元気づくり 事業交付金事業が スタート！

平成23年4月から、集落元気づくり事業交付金事業が始まりました。この交付金事業は、集落で行われる元気づくり事業を実施する団体に対して、一団体当たり年間5万円を上限に交付金の形で支援させていただくものです。

この事業により、集落元気づくり事業を実施する団体が安定的に活動を行うことができ、そして集落元気づくり事業そのものが継続して実施されることをねらいとしています。それにより、集落や地域全体に活力と楽しさが生まれ、住民相互のつながりが深まることによる地域の連帯感がより強くなることを目標としています。

集落元気づくり事業とは、次のような事業を指します。  
「おんべ(歳の神)、山開き、山菜まつり、さなぶりまつり、収穫祭、盆踊り、豊年踊り、子ども神輿、その他この交付金事業の目的に合う事業」

※この交付金を申請するにあたっては、集落活性化計画の策定は必要ありません。  
この交付金を申請することができる団体は、次のとおりです。

まず、各回の参加人数が5名以上の集落元気づくり事業を、年間一回以上定期的・継続的に開催している団体であることです。集落区はもちろん、集落内の任意の団体(集落区に属しない方が構成員となつていても差し支えありません)も申請することができます。

この交付金事業は、平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3カ年が事業実施期間となつていきます。

そして、この交付金で使うことができる経費は次のとおりです。

「賃金、報償費、旅費、需用費(食糧費は除く)、使用料、賃借料、通信運搬費、原材料費、備品購入費」

申請にあたっては申請書を提出していただきますので、地区センターまでご相談ください。申請書を提出していただいた後、審査会を開催して交付の可否を決定します。

詳細については、各地区センターまでご相談ください。

### ▼問い合わせ

- 只見地区センター  
☎ 0241-8212141
- 朝日地区センター  
☎ 0241-8412111
- 明和地区センター  
☎ 0241-8612111

## 町 長 室 日 誌

〈 5 月 分 〉

- 7日 町下野球場完成式典
- 9日 観光まちづくり協会理事会
- 10日 只見町土地改良区中朝日地区経営体育成基盤整備事業安全祈願祭
- 11日 県林業協会監事会、日本赤十字社福島支店へ義援金送達
- 12日 東日本大震災避難者との昼食会、青少年健全育成町民会議総会、政策調整会議
- 13日 町政報告会
- 14日 国道252号線雪わり街道「只見一魚沼間」再開通記念イベント
- 16日 (株)季の郷湯ら里役員会
- 17日 観光まちづくり協会定時社員総会
- 18日 ダム・発電関係市町村全国協議会
- 19日 千葉県柏市表敬訪問
- 20日 会津総合開発協議会南会津地方部会総会、南会津地方緑化推進協議会総会、南会津地方防犯協会連合会総会
- 21日 喜多方市地域・家庭医療センター内覧会
- 23日 南会津建設事務所との事業調整会議
- 24日 福島県町村会定期総会
- 25日 (株)季の郷湯ら里株主総会、消防組織再編幹事会
- 26日 社会福祉法人南会津会評議員会及び理事会
- 28日 J A会津みなみ通常総代会
- 30日 全会津経済復興推進大会
- 31日 民生児童委員協議会との懇談会、有害鳥獣被害対策協議会設立総会

## 豊嶋 宏

(とよしま ひろし)



朝日診療所  
〈 歯科医師紹介 〉

- 出身大学：東北歯科大学
  - 専門：一般歯科
  - 期間：6月1日～9月30日
- 「よろしくお願ひします」

## 東日本大震災に伴う自動車税の課税等の延長について

### ＜自動車税の課税の延長について＞

今般の東日本大震災に伴い、平成23年度の自動車税の定期課税(例年5月課税・5月末納期限)を延期します。延期する期間については未定ですが、決まり次第、県ホームページやマスコミ等の広報手段を通じてお知らせいたします。

### ＜自動車税納税証明書の有効期限の延長について＞

自動車税の定期課税の延長に伴い、自動車税納税証明書(継続車検用・構造変更検査用)の有効期限も延長することとしました。

つきましては、平成22年度課税により交付された納税証明書の有効期限は平成23年5月30日となっておりますが、平成23年10月30日に読み替えることとしましたので、お手持ちの納税証明書は引き続き大切に保管してください。

なお、有効期限を再度延長する必要がある場合は、その都度お知らせいたします。

■問い合わせ先 南会津地方振興局県税部  
電話 0241-62-5212/0241-62-5214

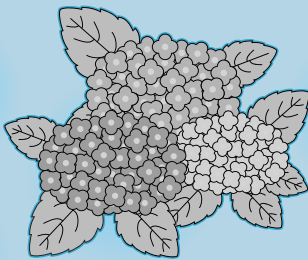


# 町民の消息

(5月1日～5月31日届出分) 敬称略

## ■おくやみ申し上げます

堀 金 好 雄	77	福井
長谷川 ミエノ	87	塩沢
長谷部 サキ子	81	叶津
五十嵐 仁 子	79	蒲生
鈴 木 千代子	99	只見
中 野 アイシ	95	叶津
折 笠 米 子	86	長浜



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごま

平成23年5月1日現在

人 口	4, 870 (+1)
男	2, 315 (+4)
女	2, 555 (-3)
世帯数	1, 863 (+6)
高齢化率	41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 26 転出 17 出生 3 死亡 11

▽6月に入ると山の緑も色濃く染まり、初夏を感じさせる景色へと変化していきます。田植えも終わり、うつくしい水田に野山が映しだされるこの時期を迎えると、季節の移ろいを感じながら、やっぱり只見の自然は日本一だなくと毎年思っています。▽この只見の大自然を満喫できるイベントが今月は目白押しです。会津朝日岳や浅草岳の山開き。山頂付近の残雪が爽快です。さらに、只見湖と辺りの風景が魅力のマラソン&ウォーキング大会など。開催日はイベントカレンダーをチェックしてくださいね。

## あとながき

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

まちづくり推進員  
若林 奈津子

朝日地区センター  
図書室 ☎84-2059

# おすすめ新着図書

## ★神様のカルテ2



夏川草介／著 (小学館)

昨年本屋大賞2位になった「神様のカルテ」の続編です。

地域医療に従事する現役医師が描くこの作品は、映画化され、今年公開されます。それぞれの立場、考えを尊重し合い、相手を思い合いながら、距離を保つ。読後あたたかい気持ちになる作品です。

## ★おばあちゃんの知恵袋 楽しく節約絵本



引田光江／編 (宝島社)

とても身近で、すぐに実践できる節約術がかわいいイラストとともに、数多く紹介されています。冷蔵庫・洗濯機・炊飯器の使い方。ちょっとした工夫で、電気代や水道代の節約だけでなく、スッキリ使いこなせちゃう。パラパラとめくって必要な点を拾い読みしてみたいかがでしょうか？

## ★みんなでののしい! なぞなぞようちえん



嵩瀬ひろし／著 (ナツメ社)

なぞなぞ『こうえんでいつもぶらぶらゆれているのはどんな“こ”かな?』

かぞくや、おともだちと、みんなでなかよくなぞなぞであそびましょう。

同じシリーズの小学1・2年生編もあります。

★朝日地区センターは、土曜・日曜・祝祭日の一般開放を休止させていただきます。本の貸出し・返却は、平日の午前8時30分～午後5時15分の間に事務室で手続きをしてください。しばらくの間ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

## サクラマス

<サケ科>

只見町で昔から食されてきた「マス」は、サクラマスのことです。本来は川から海に下って回遊し、再び川を上って産卵する魚です。只見町では田子倉湖を海の代わりに暮らしています。沢で生まれたサクラマスは、はじめヤマメと呼ばれます。縦じまのパターン(体の斑点)が美しい魚で、ヤマメのまま一生を沢で過ごすものと、田子倉湖に下って大型で銀白色のサクラマスに成長するものに分かれます。産卵の季節に桜色のまだら模様がでることが名の由来です。



### 特別展示

○絶滅危惧種ユビソヤナギのすべて

—国内最大の自生地の全貌を紹介—

期間:開催中・・・6月19日(日)まで

○同時開催のミニ企画

「森のイラスト プレ原画展」平田美紗子さん(静岡森林管理署)

### 問い合わせ

○只見町ブナセンター TEL0241—72—8355

○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241—82—5240

[訂正] 5月号で紹介したコシノコバイモの説明に「スプリング・エフェラル」とありますが、正しくは「スプリング・エフェラル」です。

※この広報紙は再生紙を使用しています

## イベントカレンダー

6月

5日(日)

「山の幸・山菜まつり」

「蒲生岳山開き」

12日(日)

「会津朝日岳山開き」

19日(日)

「只見湖岸健康マラソン&ウォーキング大会」

26日(日)

「浅草岳山開き」

7月

16日(土)

「伊南川・アユ釣り解禁」

30・31日(土・日)

「水の郷まつり」

▼只見の新鮮な野菜、山菜は観光客の方にはもちろん、地元の方にも人気です。ひんのめえ市に出品してみませんか。お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241—82—5250

営業時間 午前8時半〜午後6時

(年中無休)

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています